

平成 25 年度

教育研究開発センター自己評価委員会議事録〈要旨〉

日 時：平成 26 年 1 月 7 日（火） 17：00～17：45

場 所：高度医療人育成センター5階 小研修室

出席者：羽野委員、宮下委員、山田委員、岩橋委員、篠崎委員、岡村委員、大江委員（元和歌山市教育長）

《 議 題 》

■ 平成 24 年度事業実績報告について

平成 24 年度の事業実績について、羽野委員が医学部分を山田委員が保健看護学部分をそれぞれ報告し、その後意見交換を行った。

◆ 医学部

- ・ 各部会で行った議事について

教育評価部会：教員の教育貢献を顕彰するためのベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチング賞制定について

入試制度検討委員会：身体障害者への特別配慮、H27 年度センター試験科目変更、県民卒校長推薦書について等

カリキュラム専門部会：学生の電子カルテ記載、国際認証（医学教育分野別認証）について等。今後も引き続き国際認証に向けた取組、カリキュラム改革について議論していく。

臨床技能教育部会：共用試験、スキルスラボ、医行為について

FD部会：FDのテーマについて検討

- ・ 開催したFDについて

第 2・3 回は国際認証に関わるテーマ。第 4 回は保健看護学部も参加。

- ・ 和歌山 SP の会について

- ・ 学生実習について

- ・ 発行した冊子等

- ・ 日本医学教育学会総会での発表内容

- ・ 学生自主カリキュラムの取組

医学部においても今回から記載

- ◆ 保健看護学部
 - ・ 各委員会で行った議事について
 - 入試制度検討委員会：H27年度センター試験変更に伴う検討
 - FD委員会：3本柱＝教員相互授業参観、特別講演会、教員の発表についての検討
 - ・ 開催したFD
 - 毎月1回開催。教員の研究発表など。
 - ・ FD特別講演会一覧
 - ・ 発行した冊子
 - ・ 和歌山県立医科大学保健看護学会について
 - ・ 学生自主カリキュラムの取組
 - 小学生対象の健康教室については、毎年継続している。
 - 学生教育についての論文・報告・学会発表も行っている。博士課程の認可、平成25年度から開始。がん看護学の設置など、教育の充実を図っている。
- ◆ 臨床技能研修センター
 - ・ スキルラボ備品・利用状況等
 - 多岐にわたり利用者増加。学外利用者に対する使用料徴収の検討中。
 - ・ わりんぎ
- ◆ HPについて 取組等の紹介
- ◆ 決算書、予算書について
 - H25年度予算増：新規事業（ベストティーチャー賞顕彰、電子カルテ導入）
 - 学生増の影響

【主な意見】

- ・ ダ・ヴィンチが一覧表に載っていないのでは。
 - 特定の事業のため。載せていく。
- ・ スキルラボの年次ごと利用状況も掲載してはどうか。
 - 次回から年次別グラフも掲載する。
- ・ 外部利用に対し、新たに生ずる人的経費、教育指導等事務について。
 - 多くは指導可能な先生がついている。特殊な備品には関連する学内教室に指導依頼となる。操作方法、物品の準備・回収等の事務が増加。収納関係事務が新たに発生。

- ・ 使用料の算出根拠について。
→備品については減価償却5～10年くらいで検討。消耗品費は1人あたりや1個あたりの計算により算出。
 - ・ 予算はセンター費へ収納されるのか。徴収事務等事務量に対して費用対効果が見込まれるのか。
→予算は大学としての収入となる。どこで事務を行うかは検討中。
 - ・ **FD**の参加者数について。経験から出席して欲しい教員がこない。
→医学部：テーマが領域と関係している教員や熱心な教員が出席。修了証を発行しているが、それを積極的に評価する方法がない。
評価方法は今後改善したい。
外部講師による**FD**が多く、その場合、どうしても講師の予定に合わさざるを得ないところがある。
→保健看護学部：外部講師による**FD**は、教員が出席しやすい日時で設定。学部内発表は定例化している。できるだけ参加しやすいようにしている。
- 教育変革の過渡期である。今後ともご協力をお願いしたい。
昨年度の意見等を受け、**FD**の要旨、医学部の自主カリキュラムについても記載。他大学への発送時にアンケートも依頼、結果についても記載したい。
自己評価委員会委員からも事業実績評価表による評価をいただきたい。